



久原 大輝

春は毎年、別れの時季でもある。日頃からチームを支えてくださっている、バレーボール事務局の3人の方が、チームを去ることになった。

山本幸礼部長は、リーグ戦ではベンチ裏の記録席からチームを鼓舞し、練習時は率先してボールを拾ってくれるなど、本当にバレーボールが大好きな方だ。

栗栖久章さんは、私やチームの要望に快く応えてもらい、選手が

卒業する仲間へ感謝

安心してプレーに打ち込む環境を提供してくれた。

新川義雄さんは、普段は体育館に勤務しており、私が仕事の愚痴をこぼした時も、何一つ嫌な顔をせずに聞いてくれた。栗栖さんとは新川さんはマネジャーの経験があり、いろいろと相談させてもらい、アドバイスをたくさんいただいた。

この方々がチームを離れるにあたり、今季は結果で恩返しをできなかったのが心残りではある。3人とも広島県出身なので、またどこかでお会いできると私は思っている。その時、JTサンダーズ広島がもっといいチームになったと思ってもらえるよう、今後の業務に励もうと思う。

最後に山本部長、栗栖さん、新川さん、本当に長い間ご苦勞さまでした。

(JT広島マネジャー)

ホームゲームを終えて、記念撮影する栗栖さん(左から2人目)
新川さん(同4人目)
山本部長(同5人目)

